

とっても地味  
だけでも  
とっても大切

2013年8月2日と9月2日

介助犬福祉講話&

介助犬デモンストレーション

介助犬普及啓蒙活動及び高齢者介在活動

【開催場所】

特別養護老人ホーム サニーヒル横浜

今年で五年目になる白十字株式会社様協賛の介助犬普及啓蒙活動・高齢者介在活動各地から来てほしいとの要望を頂いているとの事で、本当に有り難く思います。

そして何よりも、1度伺った所から『また来てほしい』と言って頂ける事が何より嬉しい一言です。今回は神奈川県にある『サニーヒル横浜（特別養護老人ホーム）』にて初めて活動を行いました。この日の参加犬はデモンストレーション犬のカノン・ハリー・アラン、広報犬のサンデーの4頭。初めに介助犬のデモンストレーションを行いました。介助動作ひとつひとつが出来るたびに大きな拍手と



2013.9.02

笑顔頂きました。その後は、介助犬のふれあいタイム。「頑張ったね」「えらかったね」と、みなさんニコニコ笑顔。たくさん褒めてもらい犬たちも嬉しそうでした。最後にグループに分かれて記念撮影。犬たちは張り切ってカメラ目線！ですが、参加者の方々はみなさん犬たちに目が釘付け（笑）笑顔いっぱい楽しい時間を過ごす事が出来ました。



2013.8.2

2013年9月5日

介助犬福祉講話&介助犬デモンストレーション

【主催】 一般財団法人 リブレット基金 事業財団

一般財団法人 リブレット基金事業財団様からは毎年ご寄附をいただいております。今回は皆様に介助犬についてご理解と感謝を込めて介助犬福祉講話&介助犬デモンストレーションを行いました。参加者の皆様は会場に到着後、今回の周知がされていなかったためか、最初は怪訝な表情で見られ私たちも戸惑いました。

そこで、福祉講話とデモンストレーション及び介助犬使用者のDVD映像を見てもらいました。今回の会場は、普段よりも男性が多く普段と違う雰囲気でしたが、デモンストレーションが進むにつれ、会場からは「男性のすすり泣き」も聞こえてきてきました。そして無事終了。皆様から沢山の暖かい拍手を頂、その中、ある男性が寄ってきて「今までトラウマで犬が怖くて触れなかったが、家に帰ったらやさしく撫でてあげたい気持ちになりました。協会の犬たちを見てどの犬もやさしい笑顔でしたし、介助動作も素晴らしい、人のために働く犬の素晴らしさが分りもつとこれから介助犬を応援していきます。」と暖かい応援の言葉を頂きました。また、代表の方から「涙を堪えるのに必死でした。」と目を真っ赤にさせていました。

2013.9.05

